感震リレー付ホーム分電盤　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
  - ⚠ 気をつけていただく内容です。
  - ⊘ してはいけない内容です。
  - ❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠危険

⊘	通電時の端子部には触れないでください。感電するおそれがあります。	❗	配線および交換作業は、上位ブレーカを「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
⊘	主幹ブレーカ「ON」時には制御線（黒）がL1相と同電位となります。制御線（黒）の被覆をむいた部分には触れないでください。感電するおそれがあります。 ※主幹ブレーカが分散型電源システム用(逆接続可能型）の場合は、主幹ブレーカを「OFF」にしてもパワーコンディショナの系統連系保護装置が働くまでの短時間（最大1秒間）は制御線（黒）がL1相と同電位となります。		
⊘	感震リレーはAC100V専用です。AC200Vへの接続はしないでください。破損や発熱、発火のおそれがあります。		

⚠注意

⊘	感震リレーは弊社住宅用分電盤（プチパネル）への取付専用です。他社住宅用分電盤などには取付けないでください。火災の原因となります。	❗	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災や動作しないおそれがあります。
⊘	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃、屋外などの異常環境に設置しないでください。感電、火災や動作しないおそれがあります。	❗	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
⊘	感震リレーをラジオ、テレビ、受信機など磁気を発生するものの近くやドア、扉の近くなど振動を発生するものの近くに設置しないでください。正常に動作しないおそれがあります。	❗	感震リレーを取外す場合はストッパーを「解除」の方向へスライドしてください。また、主幹ブレーカからの制御線（黒）を外してから取外してください。故障の原因となります。
⊘	感震リレーは上下を逆にして取付けないでください。正常に動作しません。	❗	感震リレーを取付ける場合は電源端子を銅バーへ確実に差込み、ストッパーを「固定」の方向へ下ろして感震リレーが固定状態になっていることを確認してください。差込みが不十分な場合、火災の原因となります。
❗	取付角度は、前後左右とも±5°以内としてください。誤作動による停電の原因となります。		

ご注意
- 感震リレーの制御線端子に主幹ブレーカから制御線（黒）が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、正常に動作しません。
- 感震リレーは停電補償機能を有しているので施工後の電圧印加時、主幹ブレーカを自動遮断させる場合があります。その場合は、主幹ブレーカのハンドルを「ON」にしてください。

■使用上のご注意

⚠危険

⊘	ホーム分電盤のカバーは絶対に開けないでください。感電するおそれがあります。

■使用上のご注意

⚠注意

注意
感震リレーからの出力で主幹ブレーカを自動遮断した場合も漏電表示ボタン（白）が突出します。漏電や中性線欠相の可能性もありますので注意してください。
異極間の耐電圧試験、絶縁抵抗測定は行わないでください。故障の原因になります。
地震などにより主幹ブレーカが自動遮断した場合は、電気製品などの安全を確認してから主幹ブレーカのハンドルを「ON」にしてください。感電、火災のおそれがあります。
周囲温度 -5 ～＋40℃、相対湿度 45 ～ 85%範囲内で、また 24 時間の平均温度は 35℃を超えないよう、ご使用ください。
時々テストボタンを押して、動作の確認をしてください。
定期的に保守・点検を行ってください。また保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカを「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
地震により主幹ブレーカを自動遮断させますので、全停電時には十分な配慮をしてください。

ご注意

・何らかの原因で内蔵ヒューズが切れると、電源ランプは点灯しません。その場合は、感震リレーの取換えが必要ですので、電気工事業者へご確認ください。

・感震リレーは、震度 5 強相当の地震を感知して動作し、二次災害（電気火災など）を低減することを目的としていますので、本製品が設置された設備などの保護を保証するものではありません。

■感震リレーの各部の名称と仕様

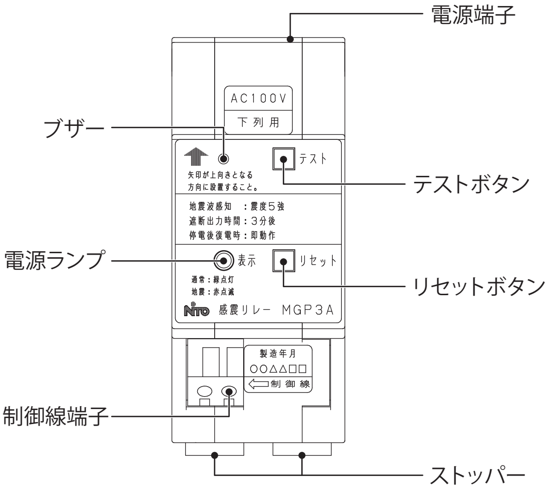


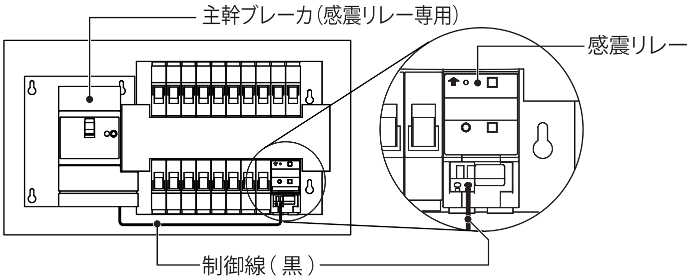
表 1 各部の名称と動作

名称	動作
電源端子	電源側プラグ端子（Ｎ－Ｌ1相）AC100V専用です。
電源ランプ	電圧印加時、緑点灯します。 地震波感知時、赤点滅します。
ブザー	地震波感知時、鳴動します。
テストボタン	テスト動作を確認します。
リセットボタン	ブザー・電源ランプの点滅を停止し、初期状態に戻ります。
制御線端子	地震波感知時主幹ブレーカを自動遮断する信号を出力します。

表 2 感震リレーの仕様

型式	ＭＧＰ３Ａ
定格電圧	AC 100V　50/60 Hz
動作感度	震度５強相当 ・250gal周期0.3s、0.5s、0.7sにて動作 ・80gal周期0.3s、0.5s、0.7sおよび250gal周期0.1sにて不動作
取付角度	前後左右とも±５°以内

■取付位置例



■感震動作機能について

●震度５強相当の地震波を感知すると、３分間電源ランプが点滅およびブザー鳴動（２分３０秒以降は鳴動間隔短縮）した後、主幹ブレーカを自動遮断します。

●地震波感知から３分の間に停電が発生すると、復電時に主幹ブレーカを自動遮断します。

●停電後８秒以内に地震波を感知すると、復電時に主幹ブレーカを自動遮断します。

■テスト機能について

●テストボタンを短押（２秒未満）すると、感震動作を開始し、３分後に主幹ブレーカを自動遮断します。

●テストボタンを長押（２秒以上）すると、主幹ブレーカを即動作します。

■リセット機能について

●地震波感知から主幹ブレーカが自動遮断するまでの間、またはテストボタンを押してから主幹ブレーカが自動遮断するまでの間にリセットボタンを押すと、ブザー・電源ランプの点滅・自動遮断を停止し初期状態に戻ります。

■留意事項

●感震リレーは設置状況、場所などによって気象庁が発表する震度とは異なる動作をする場合があります。

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2015 年 3 月現在のものです。

C903431102

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL （0561）64-0152
http://www.nito.co.jp

© NITTO KOGYO CORPORATION